

祭り日和

川越まつり交通規制のお知らせ

2

11

いっしょにまちづくりする人は

12

平成10年度補正予算の概要

18

誰 手作りが生む「家族」の関係

30



スマイルシティ・川越

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>



川越まつり／龍神の山車（松江町1丁目）

平成10年川越市有形民俗文化財指定

祭り日和

祭りからまちづくり

祭りは時代とともに変化し、まちに暮らす人によつて継続されます。人が力を合わせて行われる祭り、それは、まちの活気と熟成を表し、これからも、まちの発展とともに輝きを増していくことになります。



私たちの郷土、川越のまち



首都圏に位置する城下町

川越市は、いろいろな魅力を持つまちです。市域は、東西、南北それぞれが、およそ十キロメートル。市街地北部に歴史のある町並みを持ち、同南部に「川越」「川越市」「本川越」の三駅を中心とした新しい商業地域があります。それらの周囲には、おおむね北東部に水田地帯、南西部に畑作地帯、北西部と南東部に新興住宅地が広がります。土地は全体に平坦で、西・南北を回り東に「入間川」「新河岸川」「小畔川」が流れ、南部には武藏野を象徴する雑木林などの自然があります。

およそ三十三万人が暮らす川越市は、「歴史のまち」「ベッドタウン」という一見、相反する二種類の顔を持ちます。それは、川越藩と江戸および川越市と東京の位置関係によって培われたもの。首都圏四十キロメートル以内に位置し、都心に直結した鉄道三線、国道・関越自動車道など、交通の利便性があり

江戸文化の影響

近世の川越は、江戸の北の守りとなる軍事的な要衝として、また、大消費地の江戸に供給する物資の集荷拠点として、重要なまちでした。寛永十六年（一六三九）に川越藩主となつた松平伊豆守信綱は、江戸と川越を結ぶ新河岸川に舟運を起こしました。この舟運および川越街道を流通経路として商人のまちとしても発展を遂げています。

物流とともに川越には江戸の文化が運ばれてきました。川越まつりは、開催日が休日（10月第3土曜日とその翌日）に変更され、天気もよかつたことから、2日間で過去最高の55万人の人出を記録しました。

350年を超える川越まつりが評価されるには、祭りの充実はもちろん、祭りに訪れる人を受け入れる能力が課題になります。それは、交通、休憩・宿泊などの施設、接客・案内などのサービス、外国から訪れた方に対する情報の提供、市民ひとりひとりの心配りなどあらゆるものに及びます。

人とまちが力を合わせ、祭りを支え、まちが持っている文化を感じてもらおうとする努力。その過程は、まちづくりにとって大切な要素であり、「祭り」は、それらを総合したもののです。

一方、敷設された鉄道は歴史遺産が残る地域から離れていたため、地域間の距離はまちに奥行きを持たせています。都市化を免れ、安らぎを感じさせてくれるとともに生活感のあるまち。いろいろな表情、歴史・文化的の独自性を持つ川越市は、年間に三百七十五万人（平成九年度・川越市観光協会資料）の観光客を迎えてています。

れ、今なお江戸情緒を残すまち「小江戸川越」として今日に至っています。日本の文化として特色のある江戸時代が再評価される近年、江戸文化を残す川越への注目度は高まると考えられます。

歴史と伝統のまち、というと保守的で古い印象があり、確かに「旧市内」「新住民」という表現が用いられることがあります。しかし、住む時間、住み方によつて感じ方が異なるのは自然なこと。転入・転出によつておよそ一万七千人が入れ替わり、出生を含め、人口が年間でおよそ千五百人増加するまちであり、変わると部分も随所に見られます。長い生命を持つ「まち」にとつて変化はつきもの。むしろ、古いものと新しいものの魅力をうまく生かし、まちづくりを進めるところに川越の特色と個性があると言えます。

歴史と文化、人口増加、観光都市。そうした、さまざまな要素が凝縮されているのが「川越まつり」です。

祭りは、人とともに輝き

江戸型の山車まつり

ができることになります。

パレード・ひきまわし

木遣り、拍子木、手古舞の金棒、「そーれ」のかけ声、ギシギシと木がこすれ、ゴトゴトと車輪の回る音。山車が人形をせり出し、目の前をゆっくり進む姿は圧巻です。また、山車が動くということは、職方の技術が見られます。

一番街と鐘つき通りは電線類が地中化され、市役所前から札の辻までは道路を横切る電線がないため、山車本来の姿をたんのうで

きます。電線類地中化のとき、多くの人が描いた光景は、おそらく蔵造りの町並みを行く山車の姿。それは、江戸情緒を醸し出すもの

ひつかわせ

山車どうしが出会ったときに囃子を交わす「ひつかわせ」は、川越まつりの一番の見どころです。「ひつかわせ」の場所になる交差点(辻)は、人があふれるうえ、山車数台が集まり、たいへん混亂します。それを町内の「宰領」どうしが協議し、鳶頭がたたく拍子木によつて山車が動く場面は、祭りの醍醐味です。特に、夜になれば、揺れ動くちょうどいの明かり、闇に浮き上がる山車の姿が映え、祭りはクライマックスを迎える。

祭り、休日開催へ

川越まつりは「十ヶ町」の時代から今日まで、新たな町内を加え、変化を遂げながら発展してきました。平成九年度から実施日が第三土曜日とその翌日の日曜日になつたことは祭りの大きな変化の一つです。

昨年の「宵山」で行われた山車展示では、車いすを利用する方、ベビーカーでお子さんを連れた方が山車を近くで見たり、囃子を聴いたりする姿が見られました。また、山車といつしょに記念写真を撮影できれば、その一枚の写真から、さらに新しく川越に訪れる方

市民の姿が見える

平成九年十月十七日に行われた小江戸サミットでは、「論語」の中から「近きもの喜べば、遠きもの来る」ということばが紹介されました。その要素が、まさに当てはまるのが祭りであり、まちづくりではないでしょうか。

川越市民の多くが、川越まつりを楽しみ、継続しようとするなら、川越のまちを愛し、よりよい郷土にしようとするなら、その意識を感じる人は、どんなに遠くからでも訪れるに違いありません。

未来に向けて

さらなる課題は、そうして訪れる人をどのようにして訪れる人が楽しめるようなまちでなければなりません。まちを散策する人が祭りのときも訪れたいと感じるようなまちでなければなりません。それは、多くの人が意見を交換して、調整を図りながら進めることによって、よりよいものが生まれる可能性を高めていくことになります。

祭りは時代とともに姿を変え、まちの活気と熟成を表すもの。人が力を合わせてつくる「川越まつり」は、私たちのまちの象徴として、これからも、皆さん之力によって輝きを増していくことになります。



蔵のまちにちょうちんの明かりが揺れ、けんらん豪華な山車の姿が浮かび上がる「ひつかわせ」

これによつて、会社に勤める人が祭りに参加やすくなり、休日のためにバス路線変更の影響が少なかつたとも聞きます。また、二日間で五十五万人（川越警察署調べ）の人出

は、伝統的な祭りを多くの人に見てもらえたことを示し、人が訪れるによる経済効果も見込みました。開催日の変更には、さまざま意見がありました。関係者の協議によつて、新しい展開が図られたことになります。

人・まち・祭り

祭りは人とまちを表している

東京大学史料編さん所長・黒田日出男さんは、川越市立博物館発行の「氷川祭礼の展開」の中で「江戸時代の祭り・祭礼文化は、都市を中心とする近世文化全体と密接不可分であり、ある意味では、その要に位置している。にもかかわらず、これまでの研究、とくに歴史研究においては祭り・祭礼は見過された。しかしながら、もしも本当に近世史や地域史を豊かに把握しようと思うなら、祭礼文化史研究がもっと重要視されべきであろう（都市祭礼文化研究の現在）」と記しています。

祭りが持つ意味は、時代が異なつても同じように考えられます。多くの人がかかわって行われる祭りには、現在の暮らしやまちの様子が現れます。継続されることによって成り立つ伝統。受け継がれる祭りは、その象徴です。

祭りが持つ意味は、時代が異なつても同じように考えられます。多くの人がかかわって行われる祭りには、現在の暮らしやまちの様子が現れます。継続されることによって成り立つ伝統。受け継がれる祭りは、その象徴です。

川越まつりから天下祭へ

「江戸ゆかりの山車フォーラム」の「江戸つ子の夢を語るシンポジウム」では、二十一世紀を迎えるとき、各地の山車を東京に集め、「天下祭」を再現しようという話も飛び出しました。

近年、東京都内では、江戸型の山車の見直し、復元が盛んになっています。江戸東京博物館（墨田区）の展示で一般入場者の関心が高いのは、「神田須田町の山車」だそうです。現在は神輿が中心の神田祭も元来は、山車が主役のものだけに往事の「天下祭」の姿は望まれるところかもしれません。

天下祭復活には、近年の社会・経済の状況を改善する効果も期待されます。むしろ、そうしたことは、祭り本来の目的ではないでしょうか。

夢を夢で終わらせないためには、今後、乗り越えなければならない、さまざまな課題があることも考えられます。しかし、「祭り」に対する熱い思いがあれば、それは十分なこと。そのエネルギーこそが本来の「江戸氣質」と考えられます。

実現の可能性は別としても、江戸型の山車によつて行われている「川越まつり」への注目度が高まっていること

も事実。川越市は、江戸との文物の交流によつて「小江戸」を称するまち。そこではぐくまれた祭りが、江戸の祭りに貢献できるものとして期待されます。

天下祭がよみがえるとき、それは「川越まつり」が大江戸に錦を飾るときかもしません。

いつしょにまちづくりする人は



この指

(まちづくり協働指針)

とーまれ

川越市都市計画マスター・プラン
川越市では、現在、「都市計画マスター・プラン」を作成中です。

同プランは、およそ二千年后のまちづくりについて考えるもの。これまで、行政が中心になつて計画が作られてきましたが、今回の川越市都市計画マスター・プランは、まちづくり協議会、市民アンケート、ご意見記入カードなどによつて幅広く市民の皆さんのお考えを聴きながら進めています。

今後のまちづくりを県の方針および川越市総合計画に合わせ、効果的に推進するとともに市民の皆さんのお意見を反映するため、多くの方のご協力をお願いします。

川越市都市計画マスター・プラン●市民と行政が「協働」のまちづくり

住む人のまちづくり

川越市都市計画マスター・プランは、全体構想と地域別構想で構成されます。

二層で構成されます

都市計画マスター・プランは、全体構成と地域別構成で構成されます。

川越市全体の将来像

分野別まちづくりの方針

実現化方策

川越市全体の将来像であり、川越市は全域が該当します。

全体と地域の調整

地域を大切にした計画

各地域の将来像

対象地域

実現化方策

(11地区ごと)

各地域のまちづくり方針

地域別構想

(11地区ごと)

実現化方策

川越市役所 〒350-8601 川越市元町一丁目三番地一 0492-24-8811

行政

市民

目標年次

地域

目標年次

地域

全体

地域

全体

地域

まちの問題個所を皆さんと話し合い、二十年後のまちづくりについて考えることにより、環境のよいまちづくりを行つていいと考えています。

環境によいまちづくり
小澤徳二郎さん(本庁地区)

地域の人たちは、郷土愛が強く、現在の自然環境を残すことを望んでいます。住民参加によって地域の特色を生かしたまちづくりを期待しています。

自然環境を残して郷土愛を
新井義幸さん(芳野地区)

まちづくり、地域づくりに地元の意見、考えていることが取り入れられてこそ地域により優しいまちづくりができると、大いに期待をしています。

地元の意見、考え方を生かして
三上喜久藏さん(古谷地区)

地域の未来像の作成に自分の手で協力でき、夢の実現が身近に実感できました。また、生活しにくい個所の発見、必要とする要望の検討を望みます。

地域の未来を自分たちで
大河内裕之さん(南古谷地区)

まちづくり協議会は、現在までに三回行われ、まちづくりについての課題・問題点の整理、タウンウォッキングなどを実施しました。四月十九日から六月六日にかけて行われたタウンウォッキングは、午前中にバスで各地区内の概要を見た後、グループに分かれて地区の特色について、これまで気づかなかつたことの課題となる場所を細かく歩いて調査。午後は、グループごとにまとめ、それぞれの発表を行いました。



都市間競争に勝てるまちづくり
内川進さん(高階地区)

まちづくりを目的に
加藤一夫さん(霞ヶ関北地区)

平地林を残しながら
坂本昌三さん(福原地区)

調和のとれた地区プラン
増田一見さん(名細地区)

希望の持てるまちづくり
伊藤明さん(大東地区)

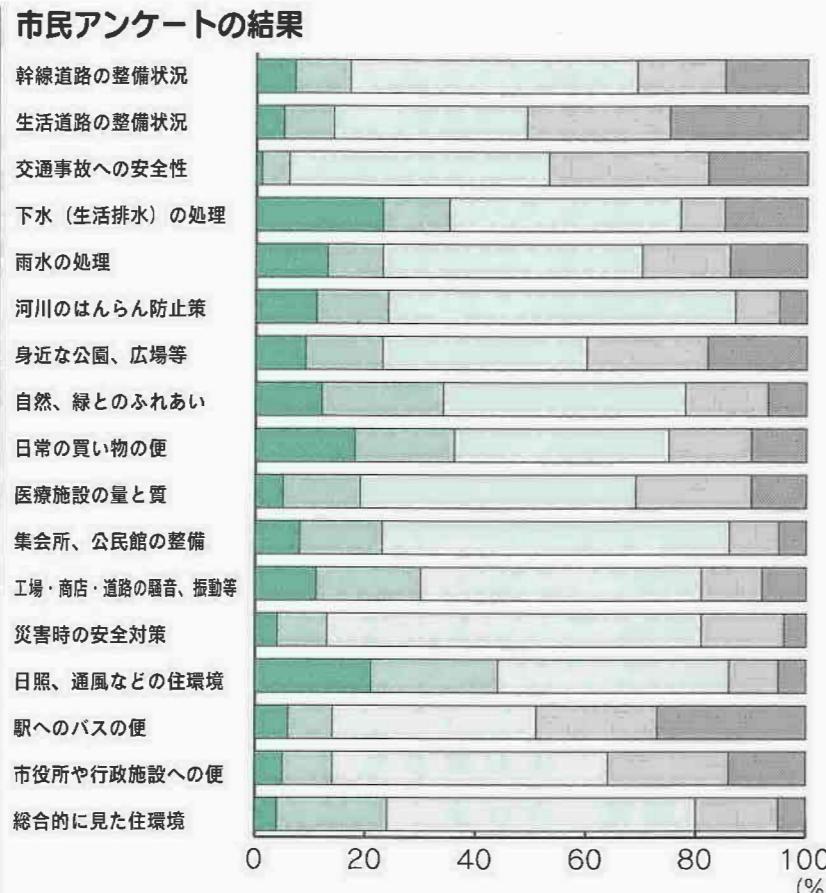
川越市の北の玄関として
沼田朝吉さん(山田地区)

行政と住民が懸命に努力して
窪田見男さん(霞ヶ関地区)

地域の未来を自分たちで
大河内裕之さん(南古谷地区)

川越市都市計画マスター・プラン ● まちづくり市民アンケート

アンケートの結果



ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意

「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。
多くの将来を考え、よいものにしようとするとするなら、どなたでも自分の意
「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

「ご意見記入カード」もその一つ。

川越市都市計画マスター・プラン ● ご意見記入カード

都市計画マスター・プラン策定は、市民の皆さんから意見を聴くために



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を紹介するコーナーです

歩くことから健康づくり

平成10年9月10日(No.942)

高齢化と少子化によって国民健康保険の需給バランスが崩れ、相互扶助によって成り立つ同制度の危機が心配されています。川越市健康づくり推進事業は、そうした状況に対するとともに、楽しく暮らすために必要な健康について各自で意識していただこうとするものです。広報をご覧になつた方から万歩計についての問い合わせがありました。実際に使ってみると、一日にどのくらい歩いているか気になるもの。デジタルメーターの場合は、数字で見られるためにわかりやすく、キャラクター商品も楽しく歩く手段になります。



広報川越No.942/4-5ページ

一方、注意しているにもかかわらず音が出てしまうものがあり、困っていることが事実でも神経質になり過ぎて指摘したことが、かえってこじれてしまうこともあるのではないか?

私たち、日常生活で騒音について近所に気配りをしているでありますか? ①車のアイドリングは、身体に有害な排気ガスを振りまくもの。冬でも五分以内で十分であると専門家にお聞きしました。

②ふとんたたきは、強くたたくと綿の繊維が切れてかえってほこりになります。軽く払うか、掃除機をかけるほうがよいのです。

③一日に何度も開閉する扉、シャッターなど、ちょっとした他人への気配りが必要です。

騒音と環境汚染が少しでも防止めたら未来に希望が持てるのですが……。今一度、自分の行動を振り返ってみましょう。自分がよければいいというのは許されないのです。

匿名

広報川越から
音は大きさのほか、種類・時間帯・発生源とのかかりなどによつて印象が異なるもの。お互いに自分が発する音には注意したいものです。時には、自動車の警笛音が原因で事件になる例もあります。配慮は必要なことと思われます。

防災ボランティア募集

岸町一丁目自治会では、災害に対し、被害を最小限にい止めるべく、自主防災組織を設立し、毎年訓練を実施しているところですが、八月二十八日未明の集中豪雨には役員・自主防災会と市当局の皆様が夜を徹して活動したにもかかわらず多くの被害に見舞われました。そこで、岸町一丁目自主防災会を前進して被害にわれていない川越市在住の皆さんにご協力いただき、相互扶助精神による防災ボランティア制度を確立してまいりたいと存じます。つきましては、一人でも多くの方に防災ボランティア登録をお願いします。加入希望される方は、住所・氏名・性別・年齢・連絡先(昼夜別)をファックスで(23-1

一方、注意しているにもかかわらず音が出てしまうものがあり、困っていることが事実でも神経質になり過ぎて指摘したことが、かえってこじれてしまうことがあるのではないか?

旅人のコートを脱がすのは「北風より太陽」寄せられる問題について実践されている好例があります。したらお聞かせください。

一方、注意しているにもかかわらず音が出てしまうものがあり、困っていることが事実でも神経質になり過ぎて指摘したことが、かえってこじれてしまうことがあるのではないか?

一方、注意しているにもかかわらず音が出てしまうものがあり、困っていることが事実でも神経質になり過ぎて指摘したことが、かえってこじれてしまうことがあるのではないか?

一方、注意しているにもかかわらず音が出てしまうものがあり、困っていることが事実でも神経質になり過ぎて指摘したことが、かえってこじれてしまうことがあるのではないか?

お申しだみください。

栗原博司

広報川越から
広報川越をなくされた方にバックナンバーをお届けします。希望者は広報課にご連絡ください。

お届けできるのは在庫のある最近一年の広報紙。すでにないものもあり、在庫がわずかのため、なくなつた場合はご容赦ください。

市長への提案から

No.50



川越市長
舟橋功一

インターネットでも意見が述べられます

市民目安箱にいただいたご意見を紹介します。

【提案要旨】

市ではインターネットに川越市のホームページを開設しているようですが、市民の側からホームページを利用して意見を述べることはできますか。

【お答え】

市では平成8年10月1日、インターネットにホームページを開設しました。内容は観光情報が中心で、主に市外の人を対象としたものでした。

市民の方からホームページ拡充の要望が多かつたため、それにこたえる形で、ことし4月15日から内容を大幅に更新しました。新しいコーナーとして、市からのお知らせであるインフォメーション、市民の皆さんに役立つ情報を掲載した市民便利帳、総合計画・行政改革大綱・人口統計などを掲載したデータバンク「蔵」、市の各部・局・室のページである市役所の扉があります。これらは、主に市民の方に対しての情報発信となっています。そして、市政に対して提案や要望をいたくコーナーとして、新たに「市政への提案」を設けました。

市民目安箱や市政への提案ファックス(fax 22-5454)とともに、お気軽にご利用ください。

メールアドレス
webmaster@city.kawagoe.saitama.jp

問い合わせ…広聴課対話係内線2141

第17回 川越市民コンサート

ベートーヴェンプログラムでお楽しみください

市民が市の歴史を知り、自治の意識を高め、進歩そして調和を目指す日として昭和五十七年に「市民の日(十二月一日)」が設けられました。市民コンサートは、この市民の日を記念して始まり、今年で十七回目を迎えます。おなじみとなつた読売日本交響楽団のすばらしい管弦楽をお楽しみください。



小川典子さん

ピアノは、一九八七年にリーズ国際コンクールで第三位入賞の小川典子さん。ロンドンを拠点としてヨーロッパ各国からアメリカ、アジア、南アフリカまで極めて広範囲にわたった演奏家として、注目されています。

魅力あふれるシンフォニーが皆さんをお待ちしています。

『ベートーヴェンプログラム』

演奏曲：『エグモント』序曲 Op.84 ▶ ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 Op.73 『皇帝』 ▶ 交響曲第7番イ長調 Op.92

入場料(全席指定)：A席 2,500円 ▶ B席 1,500円

入場券発売日：10月15日㈭から

入場券発売所：黒田書店川越店 25-31



大友直人さん

38 ▶ 丸広百貨店川越本店プレイガイド 24-1111 ▶ 栗原楽器店 22-6434 ▶ みずむら書房 43-3847 ▶ 黒田書店霞ヶ関駅前店 31-5179 ▶ 吉田謙堂西バイパス店 46-7380 ▶ 市民文化課 24-8811

問い合わせ…市民文化課市民文化係内線2

平成10年度9月 補正予算の概要

九月四日から十月一日まで、二十八日間にわたって開かれた川越市議会第四回定期会において、川越市の平成十年度補正予算が可決されました。これにより、本市の今年度予算の一般会計は、十九億四千二百七十六万八千円の補正が行われた結果、八百七十億四千二百七十六万八千円となりました。

補正予算の主な内容

今回の九月補正については、地域経済対策として中小企業関連融資枠の拡大、市民の方々からの要望の多い都市基盤整備の関連経費および集中豪雨に伴う関連経費を中心に、一般会計で十九億四千二百七十六万八千円の補正額を計上しました。



川越市長
舟橋功一



「泥絵 お固めの図屏風」日本民芸館蔵

講演会 川越藩の江戸湾防備

講師：山中清孝さん（江戸川大学講師）
日時・会場：10月31日㈯ 午後1時30分 視聴覚ホール
申し込み：電話で川越市立博物館

川越市立博物館 22-53399



現在の台場周辺の様子（写真提供：港区）

川越市立博物館第13回企画展 黒船来航と川越藩

10月3日㈯～11月8日㈰

江戸時代後期になると諸外国の船が日本近海に現れ、通商を求めて来るようになりました。こうした事態に対応し、国内では林子平の『海国兵談』（一七八六年成立）などが著され、国防の重要性が唱えられるようになります。幕府も寛政年間（一七八九～一八〇二）以降、沿岸の諸藩に対して海防体勢の強化を命じ、江戸湾警備の強化を図りました。

川越藩は、相模国三浦郡（現神奈川県）に領地を持つていたため、天保十三年（一八四二）、藩主松平大和守齊典は本格的に江戸湾の警備を命じられました。それ以後、典則・直侯・直克の四代にわたって海防の第一線に立ち、新たに建設された品川台場に配されました。

黒船来航に伴つて作成された多数の黒船関係の絵図類は多く、当時の人々の驚きと関心の高さを示しています。今回の企画展は、川越藩の江戸湾警備に焦点を当て、同時期の異国船渡來の様子や藩内の動向を紹介するものです。近代日本の出発点になつた大きな事件を、川越藩の記録や絵画資料などでたどります。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
会期中の休館日：10月23日（金）・11月4日（水）
入館料：大人＝200円／学生・生徒＝100円／児童＝50円

9月補正予算の概要

単位：千円

区分	補正前の金額	補正額	計
一般会計	85,100,000	1,942,768	87,042,768

一般会計歳入

款	補正前の金額	補正額	計
地方交付税	2,550,000	846,752	3,396,752
県支出金	2,691,236	10,568	2,701,804
繰入金	2,769,363	△ 313,000	2,456,363
繰越金	2,300,000	105,448	2,405,448
諸収入	2,599,879	400,000	2,999,879
市債	11,163,900	893,000	12,056,900
歳入合計	85,100,000	1,942,768	87,042,768

* 補正がない歳入項目は、省略してあります。

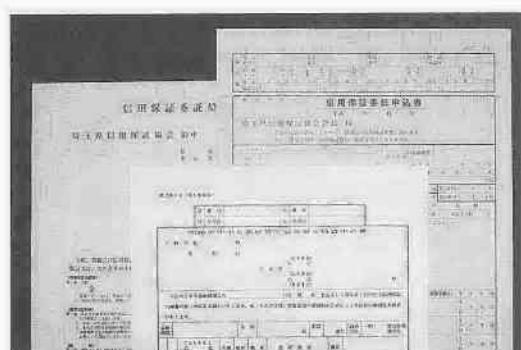
一般会計歳出

款	補正前の金額	補正額	計
民生費	19,018,861	10,338	19,029,199
農林水産業費	1,580,484	7,000	1,587,484
商工費	1,628,403	400,000	2,028,403
土木費	12,218,671	1,415,534	13,634,205
教育費	11,037,191	9,896	11,047,087
予備費	100,000	100,000	200,000
歳出合計	85,100,000	1,942,768	87,042,768

* 補正がない歳出項目は、省略してあります。

問い合わせ…財政課内線2321

10月は都市緑化月間です。緑を守り、育て、増やしましょう。問い合わせ…公園緑地課みどりの係内線3324



商工費：中小企業関係融資枠を拡大



予備費：集中豪雨対応による経費を追加



わたしの旅日記



ロンドンへの旅

切敷邦子(47歳・的場)

3月下旬、子育てが一段落し、持病の胃腸の具合も落ち着いたので、以前から計画していたロンドン8日間の旅に友人と出かけました。成田をたって12時間、あがれのヒースロー空港に着いたときは、期待と不安が半々でした。

空港からホテルに向かうバスの中では、映画「メリーポピンズ」や「マイ・フェアレディー」をほうふつさせる古い町並みに2人とも大感激。古きよきイギリスの街から若いパワーあふれるピカデリーサーカスやポンド・ストリート。1週間に有効の地下鉄のバスがバスにも使って、夜10時過ぎまで、バス停に女性の案内係が出て精力的に働いているのには、本当に驚きました。現地では、友人の娘さんのアパートを訪ねたり、イギリス人の家庭に泊まったり、フィッシュ・アンド・チップスというイギリスのスナック(ものすごく多い量)に挑戦したりと、さまざまな体験をしました。

へたな英語を使って一所懸命、コミュニケーションを図ろうとしましたが、日ごろの勉強不足を痛感しました。次回は、もう少し上達したことばで旅を楽しめればと思います。留守を承知してくれた主人と2人の息子たちに感謝しています。

イラストコーナー



長野なおみ(18歳・松江町二丁目)

まちのできごと

川越市の面積は109.16km²

109パレット

長寿横綱は2人で204歳

女性の長生き横綱は、五藤たねさん(103歳・笠幡)。男性の長生き横綱は、細田正助さん(101歳・野田町1丁目)。お2人とも、とても元気です。9月2日、ご両人の長寿を祝い、舟橋功一市長から記念品が手渡されました。五藤さんに長生きの秘訣を聞くと「あまり、怒らんこと」と笑顔で答えてくれました。

救急医療、休まず32年

昭和41年から32年間、1日も休まず救急医療に努めてきた武蔵野総合病院(小室勝男理事長)。職員全員で取り組んできた長年の功労が評価され、9月11日、県知事から表彰状が贈られました。市内で初めてとなる表彰、県内で受けているのは5病院しかなく、救急医療体制の整備充実に対し高く評価されるものです。

郷土文化の新たな交流

9月20日、広域行政事業の1つであるレンボー文化祭が川島町の広域福祉会館ホールで開催されました。川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町から8団体が出演し、囃子をはじめ、地域に伝わる芸能を披露。参加した人は「こうした広域的な企画をもっと増やしてほしい」と話していました。

カンボジアってどんな国

9月26日、カンボジア出身のリー・ヴァンナさん(30歳・上智大学1年生)を招き、南公民館で国際交流ラウンジ主催の「世界の国から・カンボジア紹介」が開催されました。講演中には、ソングシャー・ルバルというかぼちゃのお菓子のサービスもあり、参加者は異国の味を楽しみながら充実した時間を過ごしました。

夢と希望と生きること

「健康といきがいを感じるまちをめざして」と題し第2回健康づくり講演会が9月27日、やまとぶき会館で開催されました。講師は事故により全身不隨になりながらも、女優・語り部として活躍を続ける萩生田千津子さん。力強いことばで私生活の様子を語った萩生田さんに、会場からはたくさんの拍手が贈られていました。

家族のように温かく
9月二十四日で第百四十二回を迎えた「ぎんれい」の昼食会。食事が始まるとき、メンバーや参加者の間からは「きょうのお洋服すてきじゃない」「あら、ホント! ありがとうございます」といった気さくな会話が聞こえました。やがて、笑い声が起こり、どのテーブルも和やかなムード。公民館の会議室は、まるでどこかの家の食卓のような雰囲気に包まれていました。

この日の食事は、さんまの煮付けと筑前煮。松だけの混ぜご飯にお吸い物といった秋の味覚を取り入れたものでした。

「私たちの口にあつたものを作ってくれて、いつもよくしてくれるでしょ。だから、ここに来ると安心するし、とても楽しいの」と、参加者の皆さん。

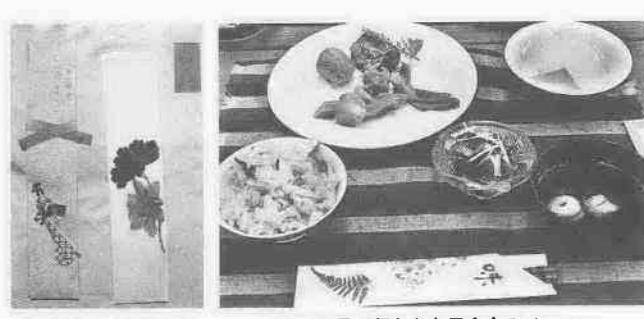


8月27日の昼食会後、化粧品会社のスタッフを招いて行われた「お化粧教室」

手作りが生む「家族」の関係

会食ボランティア
ぎんれい

霞ヶ関公民館で活動している「ぎんれい」は、地区に住む65歳以上の1人暮らしの方を対象に、毎月1回昼食会とレクリエーション等を行っています。

第1回目のはし入れ(左)
9月24日に行われた昼食会のメニュー

フェルトペナート

さつまいも

文 フェルトペナート画

岩崎喜裕
岩崎美喜代

7



今福中台のバス停の周りは、広いさつまいも畑。
あなたは、そのバス停から歩いて作業所に通っていますね。
途中、道ばたにある無人販売所で
葉とるとまだ乾いていない土のついた
大きなさつまいもを見つけました。
あなたは、少し不安そうな顔をして、
箱の中にお金を入れて帰ってきました。
さつまいもは、畑の中でこんな色をしていたのですね。

どんぐり

編集日記

広報川越は、昭和26年4月20日「市政だより」として全戸配布が始まりました。当時は、月1回発行でしたが、昭和42年4月から月2回発行に変更して現在に至っています。私たち編集担当者は、時間に追われながらも、市民の皆さんに読まれ、親しまれる広報紙作りを目指しています。最近では、環境を考え古紙含有率100%の再生紙を使用するほか、編集方法も変化しています。今回発行の広報川越第944号からパーソナルコンピューターを使った編集(DTP)に切り替わりました。これは、事務の省力化と印刷経費の節減を図るもので。もちろん、いつそ内容充実にも努めています。

TV わが街川越 番組ガイド

テレビ埼玉(38ch) / 秋立つ小江戸川越

10月17日(土) 午前10時20分~10時30分

10月18日(日) 午後5時50分~6時00分

川越ケーブルテレビ(15ch)

10月18日(日)まで・秋立つ小江戸川越/10月19日(月)から・時の鐘 音風景百選
月~木曜日/午前9時45分~・午後0時45分~・午後6時45分~・午後9時30分~
金曜日 / 午前9時45分~・午後0時45分~・午後6時45分~・午後9時45分~
土・日曜日/午前9時45分~・午後4時00分~・午後6時45分~・午後9時45分~



秋立つ小江戸川越

今回の「わが街川越」では、霞ヶ関公民館で活動する会食ボランティアの高齢者との触れ合いの様子。老人クラブ連合会主催の第1回リーダー研修会を通じ、高齢者の生き生きとした姿を実りの秋の風景とともに紹介します。

時の鐘 音風景百選

環境庁が募集した「残したい日本の音風景百選」に選ばれた時の鐘。情緒ある川越の町並みと時を奏でる鐘が描くサウンドスケープ(音風景)は、快適な環境づくりの指針です。

平成8年度制作・再放送

■変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

■発行/平成10年10月10日(毎月10日・25日発行)

■発行人/川越市長 舟橋功一

■編集/川越市広報課 TEL 350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 ☎ 0492-24-8811内線2132

■印刷/株桜井印刷所